

「脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム基本計画（案）」
に対するパブリックコメント募集の結果について

2021年3月29日
NEDO
省エネルギー部

NEDO POSTにおいて標記基本計画（案）に対するパブリックコメントの募集を行いました結果をご報告いたします。
貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

1. パブリックコメント募集期間
2020年12月25日～2021年1月8日
2. パブリックコメント投稿数<有効のもの>
計14件

3. パブリックコメントの内容とそれに対する考え方

ご意見の概要	ご意見に対する考え方	基本計画・技術開発課題への反映
全体について		
<p>[意見1] (13件)</p> <p>我が国が掲げる脱炭素社会の実現には、脱炭素化エネルギーシステムの開発のみならず、消費エネルギーそのものを大幅に削減する省エネ技術開発と、エネルギー消費を飛躍的に抑制できる省エネ工業製品の開発が重要であり、とりわけ、あらゆるシステムの機能と価値を決める基盤技術である、半導体デバイス及びその集積エレクトロニクスシステムの低消費電力化は、極めて重要。</p> <p>半導体集積回路を中核技術とするIT機器の低消費電力化は、IT機器に対する省エネ効果が大きいだけでなく、次世代自動車や多くの分野でのデジタルトランスフォーメーションにより、更に大きな省エネ効果が社会全体で創出できると考えられる。</p> <p>これらの産業を支える既存の技術開発においては、新しい革新的省エネ技術の実用化開発及びその応用実装開発を加速することが望まれる。また、我が国のグローバルな産業競争力の確保や、国家安全保障の観点から、半導体技術とこれを支える製造装置や評価装置等の産業領域は、国産化を死守すべき分野である。</p> <p>以上の観点から、本プログラムにおいて、飛躍的な省エネ性能を実現する半導体メモリ技術やIoT・AI向けのプロセッサ開発のテーマが取り上げられ、これらを支える製造装置や評価装置も含め、世界を先導する成果が得られることを期待する。</p>	<p>[考え方と対応]</p> <p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>半導体や製造技術等については、資源エネルギー庁とNEDOが改定している「省エネルギー技術戦略」の中で、「革新的半導体製造プロセス」等を重要技術として掲げており、今後の省エネルギー社会実現に向けて、重点的に取り組むべき課題と考えております。基本計画では、個別技術について記載しておりませんが、当該技術については、本プログラムの対象となっております。</p>	<p>[反映の有無と反映内容]</p> <p>特になし。</p>
<p>[意見2] (1件)</p> <p>今後、5Gなど高速通信の普及に伴い、機器間で通信されるデータ量、ストレージされるデータ量は膨大に増加し、これに伴う消費電力の抑制が今後の社会全体の課題となる。</p> <p>脱炭素社会の実現のため、従来技術に比べ劇的な低消費電力を実現する技術開発が重要であると考えます。</p>	<p>[考え方と対応]</p> <p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>上記同様、「省エネルギー技術戦略」の中で、「省エネ型情報機器・システム」として、データセンターや通信処理技術等の省エネ化も重要技術として掲げております。基本計画では、個別技術について記載しておりませんが、当該技術については、本プログラムの対象となっております。</p>	<p>[反映の有無と反映内容]</p> <p>特になし。</p>

以上